

# 第6学年 国語科学習指導案

平成29年5月10日（水）5校時

6年1組 男子11名 女子11名 計22名

授業者 才市 美奈

- 1 **単元名** 『未来に向けて、世界の事実から自分の考えを持とう』  
**教材名** 「イースター島にはなぜ森林がないのか」（東京書籍6年）

## 2 単元の目標

- 興味を持って文章を読み、筆者の主張に対する自分の考えを進んで表現しようとすることができる。 (関心・意欲・態度)
- 事実と意見との関係に注意して、自分の考えを明確にしながら筆者の述べていることを読むことができる。 (C 読むこと ウ)
- 文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 (C 読むこと オ)
- 文章を読み、筆者が用いている文章構成について理解している。 (言 イ(キ))

## 3 単元について

### (1) 単元観

#### ①本単元で取り上げる主な指導事項

本単元は、小学校学習指導要領国語の第5学年及び第6学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を取り上げて指導する。

#### ②付けたい力へ向けての言語活動とその特徴

本単元では、「C 読むこと」の言語活動例「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。」を具体化した『未来に向けて、世界の事実から自分の考えを持とう』という言語活動を位置付ける。ここで取り上げる『未来に向けて、世界の事実から自分の考えを持とう』は、イースター島の歴史について述べている文章を読んで要旨をとらえ、筆者の主張に対する自分の考えを持ち、言見文として表現し交流し合うというものである。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、児童が興味・関心を持ち、見通しを持って学習に取り組む必要がある。事実（イースター島の森林消滅の過程）を伝え、今後の社会をどう作っていくことが重要であるか筆者の願望や期待が込められた主張をとらえながら、児童は、これまでの自分の知識や経験と重ね合わせて読み進めていこう。本教材の文章から過去の事実を知り、その時どきの人々の思いにふれ、社会科での大昔のくらしの学習や家庭科での環境汚染に対して自分ができることを考えた学習など他教科とも関連づけながら思考していく児童の姿を期待したい。事実から教えられること、そして筆者の主張をとらえ、それに対する自分の考えを持ち、意見文として書く活動を通して、自分の考えを明確にしていくことを目指したいと考えている。

### (2) 児童観

児童は、5年生4月『動物の体と気候』の単元で、文章の構成を考えながら要旨をとらえる学習を行っている。その際、動物への興味・関心を持ちながら動物の体と気候との関係について読

み進めることはできたが、要旨をまとめる力には個人差があり、書き始めの言葉を提示して書くようにさせ必要なキーワードを全体で確認している。

今年度4月の全国学力調査の国語A「読むこと」の領域においては正答率75.2という結果で、他の2領域よりは高くなっている。また、小領域で見ると、「目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むこと」において正答率81.4となっている。しかし個人の学習状況をみると、友達の発言に対して他の言葉で言い換えをしたり、自分の考えを適切な言葉で発言したり書いたりといった表現する力の弱さ・語彙量の不足を感じるが多々ある。それを児童自身が自覚し、友達や周囲の人たちとの会話、読書や実生活から獲得した言葉を取り入れ、自身の言葉として活用していく場を設定していくことが大事であると考えている。また、友達の意見文を読み、その考えを知ること、自分の考え方が広がり深めることができた友達との学びの力を実感することができればと思っている。

### (3) 指導観

第一次では、児童が興味を持って読み始めることができるように、題名の「なぜ」や「森林がないのか」といった問いかけの表現・モアイ像の写真から想像したことや疑問点などを自由に出させる。『未来に向け、世界の事実から自分の考えを持とう』と本単元の学習材について遺跡が伝えている実態を読んでいきたいと思えるような導入としたい。また、5年生で要旨をまとめた既習の上に、今回は自分の考えを持つことが大事な学びであるという前学年からのつながりも意識させる。

第二次では、まず、筆者の挙げている例に着目させて文章構成を序論・本論・結論のまとまりに分けさせる。この文章構成は、読み手に分かりやすく伝えるために重要であり、児童自身が書く活動においても意識していくことが大切である。そして、引き込まれるような題名から続くイースター島の紹介が書かれてある序論の内容をとらえさせる。本論では、イースター島の森林が消滅した原因とその目的を読み取り、整理しながら表すことで本教材の内容を確実につかませたい。その際、順序立てて述べている事例や文末表現に着目しながら事実と意見をとらえていけるようにしていく。また、食糧不足→争い→人口減少という経緯を社会科の学習内容とも重ね合わせて考える児童の発言も期待したい。結論部分では、筆者がイースター島の歴史を伝えているだけでなく、今後どうすることが重要か読み手に考えさせる自身の願望や期待を込めた主張となっていることをとらえさせる。そして、児童一人ひとりがこの主張に対する自分の考えを持ち、表現したり伝えたりすることで次時の活用へとつなげていきたい。

第三次では、これまで学習したことを生かして、筆者の主張に対する意見文を書く活動を設定する。その際、自分の考えがしっかりと伝わるように文章構成を意識して書いていく。ただ「自分もそう思う」という文章ではなく、自身の経験と結びつけて「賛成だけれど一部反対部分もある」や、「これから具体的に何ができるのか」といった思いをめぐらせ、実生活に生きた意見文となるようにさせたい。そして、自分の思いを自己表現すること、友達の書いた意見文を読み合うことで、自分の考えがさらに広がったり深いものになったりすることを実感させる。今後、児童が様々な情報を知り、それに対して自分自身で考え、判断し選択していく実生活につながってほしいと考えている。

#### 4. 単元構想図

### つきたい力に向けた言語活動

筆者の主張を読み取り、自分の考えを持ち表現する。

#### 児童の実態

- 興味・関心を持って学習を進めることはできるが、要旨をまとめる力に弱さがある。
- 他の言葉で言い換えることができない、語彙量が少ない児童が多い。

#### 単元の評価規準

《国語への関心・意欲・態度》

- ①興味を持って文章を読み、筆者の主張に対する自分の考えを進んで表現しようとしている。

【関心・意欲・態度】

《読む能力》

- ①事実と意見との関係に注意して、自分の考えを明確にしながら筆者の述べていることを読んでいく。 【C(1)ウ】
- ②文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【C(1)オ】

《言語についての知識・理解・技能》

- ①文章を読み、筆者が用いている文章構成について理解している。 【言イ(キ)】

#### 本単元で児童につきたい力

- ◎事実と意見との関係に注意して、自分の考えを明確にしながら筆者の述べていることを読む力 【C(1)ウ】
- 文章を読んで自分の考えを広げたり深めたりする力 【C(1)オ】

#### 学習の流れと評価計画(全6時間)

主体的な学び

- 学習課題をつかみ、見通しを持つ。 ①【関①】
- ・写真や題名からこれまでの歴史を想像する。
- ・「未来に向けて、事実から自分の考えを持つ」というゴールを確認し、学習意欲を持つ。

対話的な学び

深い学び

- 事実と意見との関係に注意して文章を読み、筆者の述べていることをとらえる。 ③
- ・文章構成(序論・本論・結論)を考え、序論のイースター島の紹介をとらえる。【読①】【言①】
- ・イースター島に森林がない理由を読み取る。 【読①】

本時

- ・結論の内容を読み取り、筆者の主張と文章全体の要旨をとらえ、自分の考えを持つ。 【読①】

対話的な学び

深い学び

- 筆者の主張に対する自分の考えを書き、交流する。 ②
- ・自分の考えたことを構成メモで整理して、文章を完成させる。 【読②】【言①】
- 単元の学習をふり返る。
- ・言見文を読み合い、友達の見解を知る。
- ・単元を通して身についた力や課題をふり返る。 【読②】【関①】

並行読書  
(なし)

第一次 ① (導入)

第二次 ③ (展開)

第三次 ② (活用)

## 5. 評価規準

### B 概ね満足できる状況

- ◆筆者の主張に対する自分の考えをふり返りに書いている。

ぼくも祖先を大事にしたい心はあるけれど、これまでのことばかり大事にするのではなく、子孫がどうなることがよいか考えて行動していくことが大事だと思った。

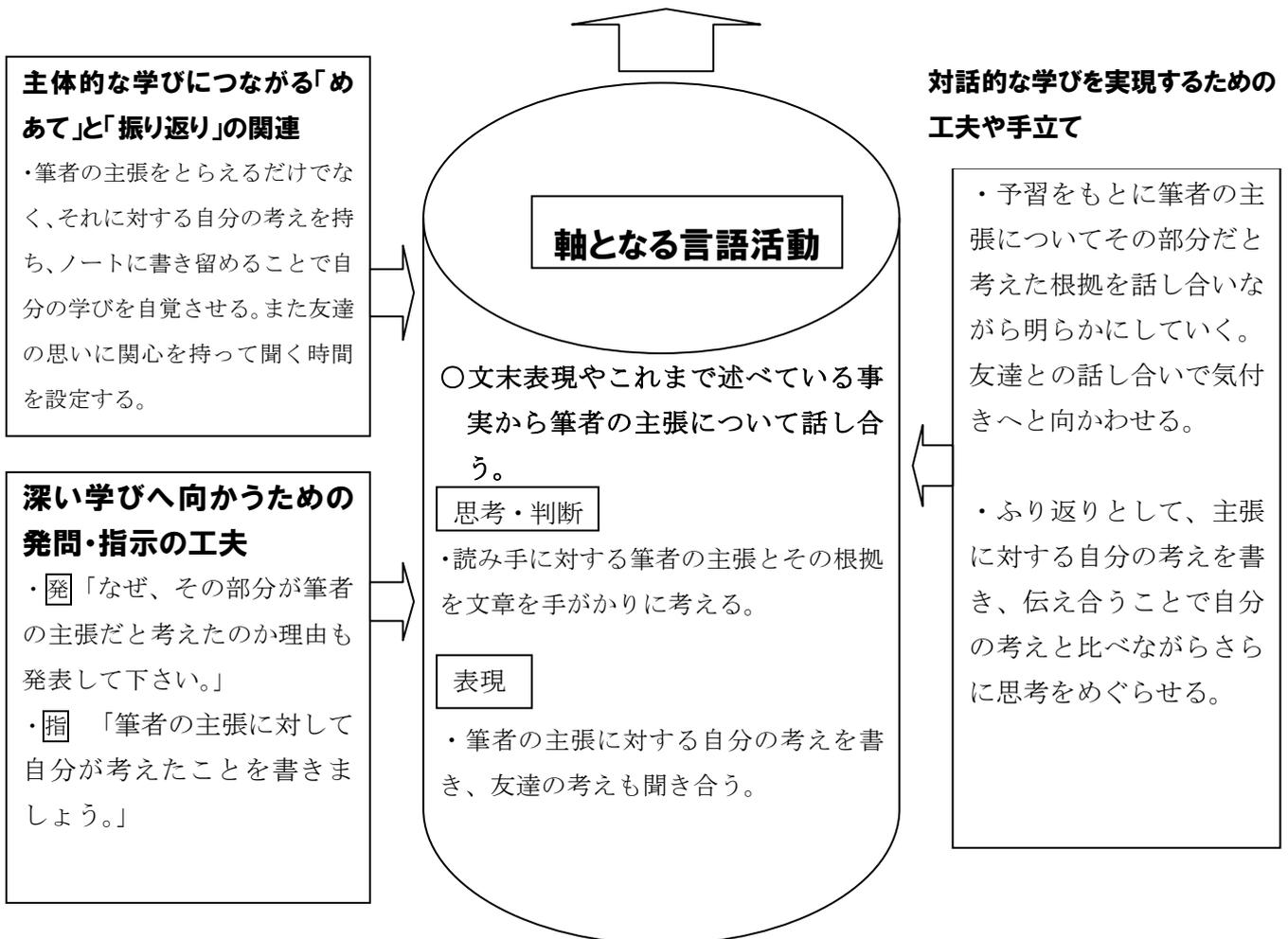
### A 十分満足できる状況

- ◆筆者の主張に対してこれからどうしていくことが大事か自分の考えをふり返りに書いている。

筆者は過去を大事にすることではなく、未来を考えていくことが最も大事だと主張しています。わたしも、このイースター島の森林破壊を知って、未来が悪くならないように環境のことなど、今できることから始めていきたいです。

## 6. 本時における研究テーマとのかかわり（身につけさせたい資質・能力）

### 筆者の主張をとらえ、自分の考えを表現する力



## 7. 本時の学習（4／6）

### 第二次 3時間目

- (1) 身につけさせたい資質・能力 筆者の主張と文章全体の要旨をとらえ、それに対する自分の考えを持つことができる。
- (2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な指示 <sup>指</sup> 、主な発問 <sup>発</sup>
見 通 す	1. 単元のゴールを確認する。 2. 本時の学習のめあてをつかむ。 めあて	○言語活動を確認し、ゴールを確認する。
	筆者の主張をとらえ、自分の考えを伝えよう。	
思 考 し 深 め る	3. 結論部分を読み筆者の主張を見つける。 主張部分がどこか発表し、筆者の述べたいことについて話し合う。 【全体】 4. イースター島から森林が失われた原因について整理した前時の学習をふり返る。 【全体】 5. 文章全体の要旨を確認する (1) 各自ノートにまとめる。 (2) 発表し合い、筆者の述べたいことについて確認する。 【全体】	<sup>発</sup> 「予習で見つけてきた筆者の主張部分を発表しましょう。」 「なぜ、その部分が筆者の主張だと考えたのか理由も発表して下さい。」 ○読み手に一番伝えたいことである筆者の主張について全体で吟味する。 ☆文末表現やこれまでの事実と述べてきたことを考えながら筆者の主張を読んでいる。 【読む①】（発言、行動） ○筆者の主張をとらえたうえで、その原因など本論で読み取ったことをふり返りながら、自分で要旨をまとめることへとつなげる。 <sup>指</sup> 「筆者はどんなことを伝えたいのか、文章全体の要旨をまとめてみましょう。」 ○短く端的にまとめさせる。 ※書き始めの言葉を書いた用紙を見せ、書き進めることができるようにする。
ま と め る	6. 今日の振り返りを書く。 (1) 筆者の主張に対する自分の考えを書く。 (2) 自分の考えと比べながら友達の発表を聞く。 【個人】→【ペア】 家庭学習 筆者の主張に対する自分の考えを意見文に書けるように文章構成を考えてくる。	<sup>指</sup> 「筆者の主張に対して自分が考えたことを書きましょう。」 ☆筆者の主張に対する自分の考えを書き伝えている。 【読む①】（ノート、発言）